

※こちらのシートは、相談先へ提出するものではありません
相談する際に、相談先へお伝えできるとよい内容を掲載しています。
この情報提供活用シートが、相談する際の助けになれば幸いです。

情報提供活用シート

記入日 令和 年 月 日

記入者名 続柄()

フリガナ 氏名	性別 ()	生年月日	平・令 年 月 日(歳 ヶ月)			
住所						
身長	cm	体重	kg	血液型	型	
主な病気						
病気の概要 治療の内容	(例:膠原病があり、発熱や体のだるさの症状が出ることもある。1日3回の内服と月1回受診し点滴をしている。)					
園や学校生活で 必要な内服や 医療的ケア	(例:昼食後に内服あり 例:給食前に血糖測定とインスリン注射)					
主治医からの指示 のある制限や生活 上の注意点	(例:紫外線予防のため、夏は帽子や長袖の着用が必要。例:低血糖予防のため補食ができる環境が必要。)					
園や学校生活で 特に不安なこと、 相談したいこと	(例:紫外線予防のため他の生徒と違う服装になることについて本人が不安に思っている。また日当たりの良い窓側の席にならないようにしてもらうことは可能か相談したい。) (例:低血糖予防のため、学校内で補食できる場所が確保できるか不安)					
かかりつけ医	電話()					
その他の病気 (アレルギー等)						
起こりうる 急変症状と対応	急変症状:					
	対応:					
緊急搬送先	病院名		電話()			
緊急連絡先	① 氏名(続柄)	電話	(園・学校までの到着時間 分)			
	② 氏名(続柄)	電話	(園・学校までの到着時間 分)			
	② 氏名(続柄)	電話	(園・学校までの到着時間 分)			

就園・就学の相談にあたって

就園・就学先にお子さんの状況を正しく知ってもらうことで、お子さんは安心して園や学校で過ごすことができます。

以下のことを参考に、園や学校、相談窓口で相談しましょう。

1. 伝えたいことは、メモして準備しましょう

お子さんの必要な情報を事前にまとめていくと、伝え漏れや聞き忘れを防げます。

お子さんの情報が正しく伝わるように、この「**情報提供活用シート**」を活用し準備しましょう。

書き方がわからない場合は、豊橋市保健所こども保健課までご相談ください。

2. 早めの相談を心掛けましょう

早めに相談することで、就園・就学に向けて余裕をもって準備ができます。

相談の目安について「小児慢性特定疾病児童等の就園・就学相談等のご案内」を参考にしてください。

3. よりよい関係づくりを心がけましょう

お子さんの就園・就学等で不安や疑問に思っていることは、抱えずに相談先に尋ねるようにしましょう。不安や疑問をしっかりと伝えることで、お互いの理解もすすみ、一緒に協力し合う関係につながります。

4. お子さんの症状や普段行っている対処法を伝えましょう

同じ疾患でも、現れる症状は人それぞれです。お子さんの症状が悪い時は、どのような症状が出るのか、その時はどのように対処しているのかを具体的に伝えましょう。

お子さんの急変時の対処方法を園や学校等と共有しておくことで、安全・安心な園・学校生活につながります。また、園・学校等から連絡があった際に対応できるように、事前に家族内で話し合いをしておきましょう。

5. 就園・就学に必要な生活習慣を身に付けましょう

就園・就学に向け、お子さんの病気の症状や治療に合わせた方法で、基本的な生活習慣を身に付けられるように、お子さんと一緒に準備しましょう。

豊橋市保健所こども保健課

電話：0532-39-9167